# 過重力によって生じたアフリカツメガエル初期胚の頭部形成異常の解析 Ⅱ

広島大・院理・両生研 柳澤誠、古野伸明、徳島大・総合科学部 渡部稔、広島大・院理・両生研 柏木 啓子、 花田秀樹、東京都・老人研 新海正、鳥取大・医・生命科学 吉留賢、東京都・臨床研 久保英 夫、鹿児島大・理 坂井雅夫、札幌医大・保健医療 藤井博匡、愛媛大・沿岸環境科学研究センター 鈴 木賢一、ISAS/JAXA 山下雅道、山陽女子短大/広島工大 柏木昭彦

# Molecular analysis of the head-defects in the *Xenopus* embryos raised hypergravity condition. II

Makoto Yanagisawa<sup>a</sup>, Nobuaki Furuno<sup>a</sup>, Minoru Watanabe<sup>b</sup>, Keiko Kashiwagi<sup>a</sup>, Hideki Hanada<sup>a</sup>, Tadashi Shinkai<sup>c</sup>, Satoshi Yoshitome<sup>d</sup>, Hideo Kubo<sup>e</sup>, Masao Sakai<sup>f</sup>, Hirotada Fujii<sup>g</sup>, Keiichi Suzuki<sup>h</sup>, Masamichi Yamashita<sup>i</sup>, and Akihiko Kashiwagi<sup>j</sup>

<sup>a</sup>Institute of Amphibian Biology, Graduate School of Science, Hiroshima University, <sup>b</sup>Integrated Arts and Sciences, The University of Tokushima, <sup>c</sup>Redox Regulation Research Group, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, <sup>d</sup>Department of Biomedical Sciences, School of Life Science, Tottori University, <sup>e</sup>Department of Neurobiology, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, <sup>f</sup>Faculty of Science, Kagoshima University, <sup>g</sup>School of Health Science, Sapporo Medical University, <sup>h</sup>CMES, Ehime University, <sup>i</sup>Institute of Space and Astronautical Science, Japan Aerospace Exploration Agency, <sup>j</sup>School of Medical Technology, Sanyo Women's College.

### E-mail: <u>nfuruno@hiroshima-u.ac.jp</u>

Abstract: Previously we showed that amphibian embryos raised under hypergravity conditions develop the various abnormalities, including head-defects such as microcephaly and cyclopia as the most common. We also showed that the expression of *Xag* (cement grand marker), and *Xotx2* (involved in fore- and midbrain and eye development) are suppressed in embryos under hypergravity. However, it is not known which region of the head is most sensitive to hypergravity, and if all regions of the head are affected by hypergravity. In the present study we investigated the effects of hypergravity on gene expression of *Xag*, *Xotx2* and *En2* (expressed in the region between midbrain and hindbrain) in tail-bud embryos of *Xenopua laevis* by whole-mount *in situ* hybridization (WISH). Double staining with *Xag* and *Xotx2* revealed that *Xotx2* expression was suppressed in embryos exposed to 5G, although the region expressed *Xag* was not changed. Furthermore, *En2* expression was not affected. These results strongly suggest that development of eye and fore- and midbrain is most sensitive to hypergravity does not affect the region posterior to the hindbrain. Key words: *Xenopus*, hypergravity, head formation, gene expression

現在の地球は、温暖化や人口の増加により環境 の悪化が起こっている。それを解決する1つの手 段が宇宙空間、または他の惑星への移住である。 人類が宇宙へ移住するための大きな問題の1つは 地球とは異なる重力の影響である。よって、地球 とは異なる重力環境でヒトが正常に生活できるか どうか、また、ヒト以外の動植物でも生活環が正 常に回るかどうか調べる事が重要である。両生類 は宇宙環境が生物にどのような影響を与えるか調 べるうえで適した動物であり、多くの実験がこの 動物を用いて行われている<sup>(1-3)</sup>。今までに我々を含 めていくつかのグループが、無尾両生類のツメガ エルを用いて、過重力の初期発生や卵成熟に対す る影響を調べて報告している<sup>(4-7)</sup>。これらの論文で は、発生初期に過重力に曝露するとさまざまな異 常が生じる事が報告されている。その異常の中で、 単眼症や小頭症などの頭部異常が最も多く観察さ れる。我々は、今までの一連の仕事から、その頭 部形成の異常がWntシグナルが抑制される事で生 じる事を報告した<sup>8)</sup>。また、セメント腺のマーカー である Xag<sup>9),</sup>前脳、中脳や眼で発現する Xotx2<sup>10)</sup>の 発現を whole mount *in situ* hybridization (WISH)<sup>11)</sup>を用いる事により解析し、それらの発現 が過重力によって抑制される事も示した。しかし ながら、頭部の中でも、どの部位がより過重力に 対して感受性が高いのか、また、形態的に頭部に 異常が生じるのは間違いないが、頭部のすべてが 過重力の影響を受けるのか、は明らかではなかっ た。そこで今回我々は、頭部のどの部分が過重力 に対して感受性が高いのか、また、頭部すべてが 過重力の影響を受けるのかどうかを、*Xag, Xotx2, En2*<sup>12)</sup>のそれぞれの遺伝子発現を WISH で調べるこ とによって詳しく解析したので報告する。

#### 1. Xag, Xotx2の発現に対する過重力の影響

今までの我々の実験から、過重力は、初期発生に おいて頭部の形成に影響を与える事が明らかになっ ている。そこで今回我々は、頭部のどの部分が過重 力に対して感受性が高いのかを Xag, Xotx2の発現を 指標にして調べた。そのため、両生類研究施設で飼 育され、今まで過重力の実験に使われたアフリカツ メガエルを使用して実験を行った。メスカエルにホ ルモン注射する事によって未受精卵を産卵させ、そ れに媒精して人工受精を行った。媒精後すぐに、受 精卵をスイングバケット式の過重力負荷装置にセッ トして、2G、5Gの過重力をかけた。コントロール の受精卵は、装置の近くにおいて約21℃で発生さ せた。コントロールがステージ11に達した時期に 装置を止めて尾芽胚まで発生させた。その後、胚を MENFA で固定して100%エタノール中で保存した。

今まで Xag, Xotx2の発現を調べた時は、過重力の 影響を強く受けた胚を使用していたが、頭部のどの 部位が感受性が高いかどうかを調べるために、今回 は過重力の影響が弱い胚を選んだ。その理由は、影 響を強く受けた胚は、どちらの発現も抑制される可 能性があるからである。影響が弱い胚を用いて、予 備的に Xag, Xotx2の発現を WISH でそれぞれ単独で 調べると、対照胚と比較して Xotx 2の発現は明らか に下がっているにも関わらず、Xag の発現領域はほぼ 正常であるという結果が得られた (data not shown)。しかしながら、これらの結果は、それぞれ 別の胚を使って染色しているので、Xotx2の発現が下 がっている胚で Xag の発現が正常であるという事を 正確には意味しない。そこで我々は、1つの胚を用 いて Xag をマゼンダフォスで赤に(矢頭で示す), Xotx2をBMパープルで紫(矢印で示す)に染める2 重染色法を用いて調べた。その結果を図1に示す。 図1から分かるように、2重染色された胚では、 Xotx2の発現が下がっているにも関わらず Xag の発現 は対照胚とほぼ同じであった。これらの結果は、過



Fig. 1 Expression pattern of head marker genes, *Xag* and *Xotx2* in control and 5G treated embryos. Regions expressed *Xag* or *Xotx2* are indicated by an arrow head and arrows,

重力に対してもっとも感受性が高いのは、*Xotx2*の発 現である事が示された。これらの事から、過重力は、 頭部の形成に対して一様に影響を与えるのではなく、 前脳や中脳、眼の発生が過重力に対して最も感受性 が高い事が明らかになった。

#### 2. En2の発現に対する過重力の影響

前の結果から、頭部は、過重力に対して一様に 影響を受ける訳でなく、最も感受性が高いのは前 脳や中脳、眼の発生である事が示された。今まで の我々の結果から、過重力は頭部の形成に異常を 与えるが、形態学的な観察では、頭部全体が影響 を受けているのか、それとも頭部の一部しか影響 を受けていないか判別は難しい。そこで、Xagや Xotx2の発現している領域のすぐ後方の中脳と後脳 の境界部で発現する En2を用いてその領域が影響 を受けるかどうか調べた。En2をプローブとして WISHを行ったのが図2である(図では、発色した紫 色を白黒に変換しているため、対照胚の染色が5G に比較して弱くみえるが、原図では、少し弱い程 度でほとんど変わらないと判断される)。その結果、 過重力を曝露した胚でも En2の発現は、対照胚と ほとんど変わらなかった。この時、En2の発現部位 が対照胚と比較して前方に移動して見えるのは、 過重力の影響の為、En2の発現する部位より前方が 縮小したため前方にシフトしたように見えている と考えられる。この結果から、頭部形成に対する 過重力の影響は、主に中脳から前部の形成にある 事が示唆された。



Fig. 2 Expression of En2 in control and 5G treated embryos.

## 3. 終わりに

今までに我々は、過重力に曝露するとさまざま な異常が生じる事、また、その異常の中で、頭部 形成の異常がもっとも良く観察される事を報告し ていた。また、その異常を遺伝子の発現レベルで も解析し、XagやXotx2の発現が抑制されている事 も報告している。今回、我々は過重力に曝露した 胚に高頻度に観察される頭部形成異常について、 *Xagや Xotx2, En2*という頭部で発現される遺伝子 をプローブとして WISH を行い遺伝子レベルで詳し く解析した。その結果、過重力胚において、Xotx2 の発現が抑制されているにも関わらず Xag の発現 は対照胚とほとんど変わらなかった。この事は、 頭部で、前脳や中脳、眼の発生が過重力に対して もっとも感受性が高い事を示唆する。また、中脳 と後脳の境界で発現している En2の発現は、5Gで 処理した胚と対照胚でほとんど変わらなかった。 この結果は、後脳以後の部分は、過重力の影響を ほとんど受けない事を示唆する。但し、今回は、 過重力の影響が少ない胚を用いて実験しているの で、影響の強く受けた胚ではどうか調べていきた い。また、さらに後方のマーカー遺伝子を用いて、 過重力がそれらの発現に影響を与えないかどうか も確かめていきたい。

# 参考文献

- Snetkova, E., Chelnaya, N., Serova, L., Saveliev, S., Cherdanzova, E., Pronych, S, Wassersug, R., Effects of space flight on *Xenopus laevis* larval development. J. Exp. Zool. 273, 21-32, (1995).
- Wassersug, R. J., Yamashita, M. The mechanics of air-breathing in anuran laevae: implications to the development of amphibians in microgravity. Adv. pace Res. 25, 2007-2013 (2000).
- 3) Gualandris-Parisot, L., Husson, D., Foulquier, F., Kan, P., Davet, J., Aimar, C., Dournon, C., Duprat, A. M., *Pleurodeles waltl*, amphibian, Urodele, is a suitable biological model for embryological and physiological space experiments on vertebrate. Adv. Space Res. 28, 569-695, (2001).
- Neubert J, Schatz A, Bromeis B, Linke-Hommes A., Effects of gravity on early development. Adv Space Res., 22, 265-271, (1998).
- 5) Kashiwagi A, Hanada H, Kashiwagi K, Kubo H, Shinkai T, Fujii H, Kashiwagi K, Effects of hipergravity on amphibian development. Biol. Sci. Space, 17, 215-216, (2003).
- 6) Kawakami S, Kashiwagi K, Furuno N, Yamashita M, Kashiwagi A., Effects of hypergravity environments on amphibian development, gene expression and apoptosis. Comp. Biochem. Physiol., Part A 145b,

65-72, (2006).

- 7) Shinkai T, Kashiwagi A, Kashiwagi K, Matsuda K, Urano S, Sato H, Kubo H, Furuno N, Sakai M, Watanabe M, Toshitome S, Fujii H, Yamashita M., Effects of hypergravity on pituitary-target orgas in the frog, *Xenopus laevis*. Biol. Sci. Space, 20, 40-43, (2006).
- Watanabe, M., Yanagisawa, M., Furuno, N., Kashiwagi, K., Hanada, H., Shinkai, T., Yoshitome, S., Kubo, H., Sakai, M., Fujii, H., Yamashita, N. and Kashiwagi, A. Analysis of head-defects in *Xenopus* embryos raised under hypergravity. SpaceUtliz. Res. 25, 155-158, (2009).
- Sive, H. L., Httori, K. and Weitraub, H. Progressive determination during formation of the nteroposterior axis in *Xenopus laevis*. Cell, 58, 171-180, (1989).
- 10) Kablar, B., Vignali, R., Menotti, L., Pamese, M., Andreazzoli, M., Polo, C., Giribaldi, M., G., Boncinelli, E. and Barsacchi, G. Xotx gene in the developing brain of *Xenopus laevis*. Mech. Dev. 55, 145-158, (1996)
- Harlamnd, R. M. In situ hybridization: an improved whole-mount method for *Xenopus* embryos. Method Cell Biol. 36, 685-695, (1991).
- 12) Itoh, K. and Sokol, S. Graded amounts of *Xenopus* disheveled specify discrete anteroposterior cell fates in prospective ectoderm. Mech. of Dev. 61, 113-125, (1997).